

## 学校名 薩摩川内市立東郷学園義務教育学校

項 目	活動内容等
<p>1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由</p>	<p>薩摩川内市立東郷学園義務教育学校は、平成 29 年 4 月に 5 小学校が 1 小学校に再編され、平成 31 年 4 月に旧東郷小・旧東郷中が合併して誕生した。</p> <p>学校数が減少したことで懸念される地域の形骸化への不安を解消するために、地域と学校が連携し、地域の課題を語り合う場「世代を超えて地域について語ろう」を企画・運営しており、地域の環境整備の課題についても意見交換がなされ、解決策を具体的に定めている。</p> <p>ふるさと・コミュニケーション科の「地域貢献活動」の学習活動において、5 年～9 年生が各地域に赴き、ごみ拾いや神社の清掃、彼岸花球根植え等を地域の実態に応じて実施している。</p> <p>また、コミュニティ協議会と連携した「東郷もりあげ隊」で、教職員や 5～9 年生の児童生徒が、藤川天神や南瀬の霧島神社の清掃活動を実施するなど、環境美化における課題解決に向けて、地域と一体となった美化活動に積極的に取り組んでいる。</p>
<p>2 受賞候補校等の活動状況等</p> <p>(1) 活動の動機・頻度</p> <p>① 活動を始めた動機及び開始年月</p>	<p>1 【地域貢献活動について】</p> <p>本校は、義務教育学校として開校し、今年度で 6 年目を迎えている。旧東郷中学校では、平成 28 年度から「ふるさと東郷に貢献できることは何か」をテーマに地域住民と話し合う「世代を超えて地域について語ろう」という活動が行われていた。平成 31 年の義務教育学校開校後も活動を引き継いだが、内容が限られていた。</p> <p>そこで、児童生徒や地域住民の思いを取り入れた活動ができるよう検討を重ねるとともに、令和 3 年 12 月に「地域貢献活動」として教育課程に位置付け、新たに活動を開始した。現在は、5 年生から 9 年生を対象に縦割り班を組織し、地域との協働による活動の充実を図っている。</p> <p>2 【東郷もりあげ隊について】</p> <p>平成 28 年度に旧東郷中学校区がコミュニティ・スクールとなって以降、地域住民から児童生徒の教育活動により多くの協力を得てきた。しかし、学校が</p>

	<p>受ける支援に対し、学校から地域に貢献したり、地域について発信したりする機会を一層増やす必要があった。</p> <p>そこで、令和3年度に「自分たちにできることを行動に移す活動を通して、東郷地域を活性化させる」という目標を掲げ、5年生から9年生の児童生徒がボランティア活動を行う「東郷もりあげ隊」の取組を開始し、現在も継続している。</p>
② 活動の愛称名があれば記入して下さい。	<input type="radio"/> 「世代を超えて地域について語ろう」 <input type="radio"/> 「地域貢献活動」 <input type="radio"/> 「東郷もりあげ隊」
③ 月間又は年間活動回数	<input type="radio"/> 「世代を超えて地域について語ろう」 年間：1回 <input type="radio"/> 「地域貢献活動」 年間：1回 <input type="radio"/> 「東郷もりあげ隊」 年間：9回
④ 活動のエリア	<b>【地域貢献活動】</b> 山田・南瀬・斧淵・鳥丸・藤川の5地区 <b>【東郷もりあげ隊】</b> 山田・南瀬・斧淵・鳥丸・藤川の5地区
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	<b>【地域貢献活動】</b> 平均参加者数：261人（子供・職員・地域住民） <b>【東郷もりあげ隊】</b> 平均参加者数：25人
⑥ 活動1回当たりの平均時間	<b>【地域貢献活動】</b> <b>【東郷もりあげ隊】</b> 平均時間：2時間      平均時間：2時間
⑦ 収集物の処理	活動後はごみを学校に持ち帰るとともに、可燃物と不燃物に分別して処理する。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	<b>【地域貢献活動】</b> 「世代を超えて地域について語ろう」では、地域の課題について、児童生徒が事前に保護者や地域住民と一緒に話し合い、発信を通して解決を図ろうとする活動を行っている。具体的には、「ごみポイ捨て禁止」や「フルーツの町東郷」を呼びかけるのぼり旗作成、地域の夏祭りに向けた灯笼作りなど、清掃活動だけでなく、地域の課題解決や魅力発信にもつなげている。

	<p><b>【東郷もりあげ隊】</b>  児童生徒が主体となったボランティア組織であり、清掃活動のほか、地域行事にスタッフとして参加したり、競技を通して交流を深めたりすることで、地域活性化のための一役を担っている。また、学校運営協議会やPTAとも連動しており、活動を重ねる中で、地域での認知度や評価も高まってきている。</p>
<p>(3) 地域への貢献度  ① 地域の環境美化への貢献</p>	<p><b>【地域貢献活動】</b>  斧淵地区以外の4つの地区は高齢化と過疎化が進んでいることから、児童生徒の道路や公園、公共施設の清掃活動は、地域課題の解決に資するところが大きい。</p>
	<p><b>【東郷もりあげ隊】</b>  藤川地区には、藤川天神を始めとして多くの神社や史跡があり、清掃管理が行き届かない現状がある。地域人材が限られている中で、「東郷もりあげ隊」の清掃活動への協力は、環境美化への貢献に留まらず、地域に元気と活力を与えている。</p>
<p>② 地域住民との協力活動</p>	<p><b>【地域貢献活動・東郷もりあげ隊】</b>  各地区コミュニティ協議会の教育活動への強固な協力体制が基盤となり、学校と地域が一体となった活動が行われている。地域住民との交流を通して、児童生徒は奉仕することの大切さや喜びを実感している。</p>
<p>③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応</p>	<p><b>【保護者から】</b>  「東郷もりあげ隊」の活動への評価が高い。活動場所までの送迎や活動への参加など、大変協力的である。</p> <p><b>【地域住民】</b>  独居老人を含め、地域住民は児童生徒との活動を通じた交流を心待ちにしており、励ましの声掛けなど、健全育成に対する意識も高まっている。</p> <p>また、「東郷もりあげ隊」の認知度が高まり、地域のスポーツ大会の運営や赤い羽根共同募金活動など、各関係機関からの協力要請が増えてきている。</p>

<p>(4) 環境教育との関連</p> <p>① 環境教育と活動との結びつき</p>	<p>【地域貢献活動】</p> <p>「世代を超えて地域について語ろう」では、地域の課題解決を見据えた探究活動を進めている。「自分たちにできること」という視点で実践することを通して、地域の環境美化に対する意識の向上と、ふるさと東郷を守っていきたいという思いが育まれている。</p> <p>【東郷もりあげ隊】</p> <p>児童生徒の地域への愛着が深く、これまでの活動を通じた環境美化活動の達成感も味わっていることから、計画作成に当たっては、児童生徒が積極的に意見を出し合うなど、よりよい活動にしたいという意欲を新たにしている。</p>
<p>② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化</p>	<p>【児童生徒の感想】</p> <p>○ 地域貢献活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日頃使っている地域の建物に感謝の気持ちを込めて清掃活動に取り組むことができた。</li> <li>・ 活動を通して、「東郷はまだまだ発展できる」と思った。</li> <li>・ 僕たちの活動が地域の人たちの笑顔につながり、地域の人たちが僕たちの支えになっていることを改めて感じた。</li> </ul> <p>○ 東郷もりあげ隊</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のために活動することは、自分も地域の人もいい気持ちになると思った。</li> <li>・ 地域の人たちが困っていることがたくさんあることが分かった。</li> <li>・ 地域の人たちがとても嬉しそうにしていたので、自分たちが役に立てたと思う。</li> </ul>
<p>③ 当該活動以外の環境教育実践活動</p>	<p>○ 児童生徒会活動の一環として、後期課程の生徒が朝のボランティア清掃活動を行っている。</p> <p>○ 縦割り班で清掃に取り組み、後期課程の生徒が前期課程の生徒と協力しながら清掃活動を行っている。</p> <p>○ P T Aの活動として、「一人一提げ運動」を実施しており、定期的にペットボトルの回収を行っている。</p>
<p>(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか（受賞年月日と表彰機関名）</p>	<p>該当なし</p>

<p>(6) 校内外活動のための時間の作り方</p>	<p><b>【地域貢献活動】</b> 本市独自の教科であるふるさと・コミュニケーション科の時間を例年3時間確保し、教育課程に位置付けている。</p> <p><b>【東郷もりあげ隊】</b> 学校教育外の活動であることから、基本的には週休日に活動している。定例会は昼休みに行っている。</p>
<p>3 その他特記事項</p>	<p>特になし</p>